

# プロジェクト名:北で広がる夢があるボールパーク構想と連携したまちづくり推進プロジェクト

## 【現状と課題】

- ・自然と都市機能が調和する魅力的な住環境と豊かな自然環境
- ・2007年から人口減少
- ・北広島団地地区は市内で最も高い高齢化率（45.2%）
- ・社会動態は2016年から社会増
- ・通過型の観光
- ・2018年10月にボールパークの建設が決定

## 【目指す方向】

・開業前からボールパーク構想の機運を市全体で高めるとともに、ボールパーク構想と最大限連動させた人口減少対策、交流人口拡大対策を取り組むことで、市全体を活性化させ、本市の目指す都市像である「希望都市」「交流都市」「成長都市」の実現を目指す

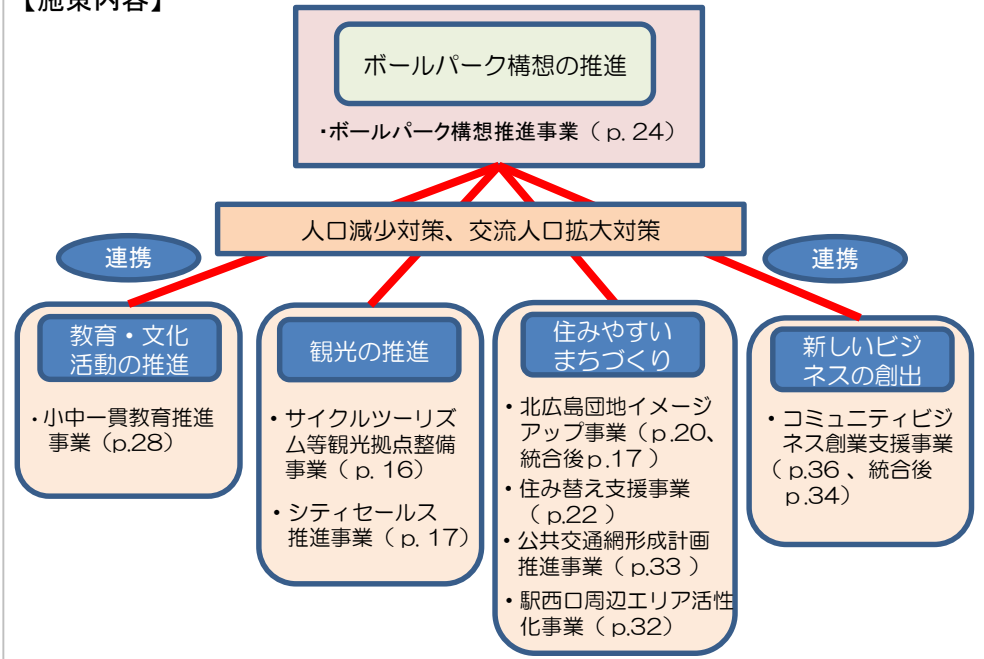


・人口減少を食い止め、地域の活力を創出するためには、さらなる交流人口の拡大と人口減少対策が必要

## 【対象事業】

- ・ボールパーク構想の機運を高める施策  
→ボールパーク構想推進事業
- ・ボールパーク構想の効果を最大限波及させて実施する人口減少対策・交流人口拡大対策  
→教育：1事業  
→観光の推進：2事業  
→住みやすいまちづくり：4事業  
→新しいビジネスの創出：1事業

## 【施策内容】



## 【KPI】

- ・社会動態  
△92人（2010年度～2014年度平均） ⇒ 208人（2020年度）  
→0人を維持継続（2021年度）
- ・宿泊客延数  
123,000人（2017年度） ⇒ 35,100人（2020年度）  
→124,500人（2021年度）
- ・北広島団地線の利用者数  
564,000人（2017年度） ⇒ 342,000人（2020年度）  
→564,000人（2021年度）

※地区人口は減少するが、路線の利用者数は維持する。

## 【KPI達成度】

【評価】 **地方創生に相当程度効果があった**

【評価の選択肢】 ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった  
③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった